

Medical Management Specialist



2016

8月号

発行/一般社団法人 日本医療経営実践協会 (JMMPA) 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F 編集/日本医療企画 毎月1回発行(通巻66号)

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/

表1 第18回3級試験および過去試験累計 結果概要

Table with 2 columns: 第18回試験, 第1~18回試験累計. Rows: 受験者数, 合格者数, 合格率.

表2 第18回3級試験 勤務先別構成

Table with 4 columns: 勤務先, 受験者数, 合格者数, 合格率. Rows: 病医院, 医療関連企業, 金融機関, 大学・短大生, その他.

表3 第11回2級試験および過去試験累計 結果概要

Table with 2 columns: 第11回試験, 第1~11回試験累計. Rows: 受験者数, 合格者数, 合格率.

表4 第11回2級試験 勤務先別構成

Table with 4 columns: 勤務先, 受験者数, 合格者数, 合格率. Rows: 病医院, 医療関連企業, 金融機関, 大学・短大生, その他.

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。 ※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

男女別構成は、男性の受験者数271人、合格者数76人、女性の受験者数47人、合格者数6人で、合格者数は男性が9割以上を占めた。 勤務先別構成は、「金融機関」が受験者数(98人)、合格者数(25人)ともに最多(表4)。合格率では、「その他」が30.6%でトップ。「金融機関」は3級の合格率が全体を下回る一方で、2級試験は、「医療関連企業」と拮抗する結果となった。(2面に続く)。

第18回「医療経営士3級」資格認定試験 受験申込者数 1320人のうち1156人が受験(受験率87.6%)し、545人が合格した(合格率47.1%)。その結果、第1~18回までの累計受験者数は1万4706人、累計合格者数は6550人ととなった(表1)。

年代別構成は、「30歳以上39歳以下」が受験者数(443人)、合格者数(219人)ともに最多、合格率において最も、受験者数が桁と少ない「60歳以上を除けば、最も高かった(49.4%)。男女別構成は、男性

の受験者数970人、合格者数465人、女性の受験者数1886人、合格者数80人で、男性が8割以上を占めた。 勤務先別構成は、「医療関連企業」が受験者数(435人)、合格者数(200人)ともに最多、この数回常にトップだった「金融機関」を下回った(表2)。合格率も66.7

第11回「医療経営士2級」資格認定試験 受験申込者数337人のうち318人が受験(受験率94.4%)し、82人が合格した(合格率25.8%)。その結果、第1~11回までの累計受験者数は2654人、累計合格者数は636人

男女別構成は、男性の受験者数271人、合格者数76人、女性の受験者数47人、合格者数6人で、合格者数は男性が9割以上を占めた。 勤務先別構成は、「金融機関」が受験者数(98人)、合格者数(25人)ともに最多(表4)。合格率では、「その他」が30.6%でトップ。「金融機関」は3級の合格率が全体を下回る一方で、2級試験は、「医療関連企業」と拮抗する結果となった。(2面に続く)。

第18回「医療経営士3級」、第11回「医療経営士2級」資格認定試験の合格者を発表 新たに3級合格者545人が誕生！ 医療経営士1万人の育成を目指す 一般社団法人日本医療経営実践協会(代表理事・吉原健二)は、7月19日(火)に、第18回「医療経営士3級」および第11回「医療経営士2級」資格認定試験(ともに6月19日「日」実施)の合格者を発表。今回の試験で3級合格者は累計6550人となった。協会では、今後も資格の普及、会員の教育支援体制を充実させ、地域で活躍する医療経営士1万人の育成を目指していく。

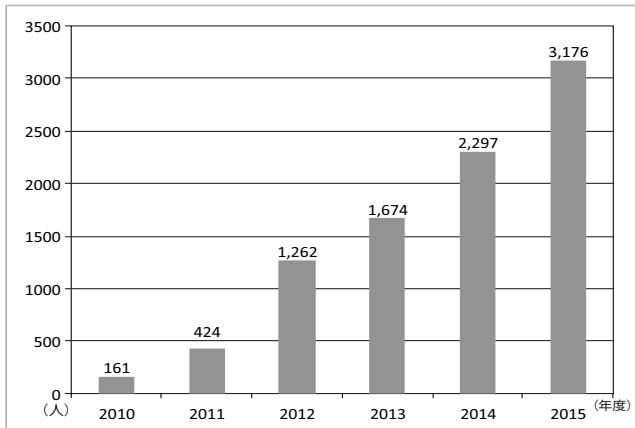
医療経営士3級2級 資格認定試験 受験エントリー 8月3日(水)から!

医療経営士 資格認定試験 日程 試験日 2016年 10/16(日) 受験エントリー期間 8月3日(水)~9月2日(金) 受験料支払締切日 9月7日(水)

Table with 3 columns: 試験項目, 第19回「医療経営士3級」, 第12回「医療経営士2級」. Rows: 受験料, 受験資格, 試験会場.

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。 ◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。 ※審査があります

同僚や知り合いの方にご紹介ください!!



「地域完結型」医療の実現に向けて  
医療経営士1万人の育成を目指す

近年、3級試験は毎回1000人以上が受験し、正会員数は2010年の協会発足以来、順調に増加してきた(図1)。協会では、国が進める「地域完結型」医療の構築に向けて、今後も医療経営士の普及活動を推進し、当面の目標として医療経営士1万人の育成を目指していく。

「地域完結型」医療の実現には、医療機関同士が緊密な連携を図り、それぞれの役割分担を明確化する必要がある。つまり、各医療機関は、それぞれの地域において、自院のポジションを決めること

が求められる。その推進者こそが医療経営士であり、病院長やその他の医療従事者等とともに経営的視点から医療を考察し、自院や取引先の医療機関が地域において安全で良質な医療サービスを提供できるような取り組みが重要である。

こうした医療経営士としての任務と責任を果たすためには、これからの時代を捉える資質と自身の能力を高めることが大切であり、協会では、地域研究会や勉強会、セミナー等を通して、これまで以上に教育支援体制の充実を図っていく。

多くの医療経営士が合格後も自己研鑽を重ね、それぞれの地域で精力的に活躍し、医療機関の発展および新しい地域づくりに大きく貢献することが期待される。

# 合格したら研究会に行こう!

## 地域支部の事務局、会員からの参加募集メッセージ

医療経営士は試験に合格して終わりではない。協会では、医療経営士の実践力向上を目的に、全国各地に地域支部を設置。趣向を凝らしたテーマ、魅力あふれる講師陣による研究会を毎月開催している。近くで開催している研究会に参加し、医療経営士としての第一歩を踏み出そう!

### 北陸支部

#### 体系的に学べる連続講座 「医療経営管理者養成講座」を再開

コメント 北陸支部事務局



2年前に開催し、好評だった医療経営管理者養成講座

2年前、支部研究会の番外編として「医療経営管理者養成講座」を開催しましたが、好評につき、今秋から改めて開催することになりました。全6回で構成され、医療経営にあたって最低限必要な知識の習得と実践力の強化を目的とした連続講座です。

全体を通したテーマは「2018年度診療報酬・介護報酬同時改定を目前に控えた今、何をすべきか?」とし、地域包括ケアの構築における連携・統合のあり方や同時改定に向けた公開フォーラムを2回開催し、残りの4回は座学とグループワークによる院内改革や収益改善、経営企画などについて学んでいきます。講師陣を含めた詳細は近々発表しますが、今回は支部の枠を越えた参加者も募集することにしました。詳細の発表をお楽しみに。

### 北海道支部

#### 支部内に企画委員会を設置 介護との連携にも力を入れる

コメント 北海道支部事務局



7月に開催した「診療報酬改定の影響」勉強会

北海道支部は支部内に企画委員会を設置し、会員自らが研究会テーマを策定しています。今年度は4月に金沢大会演題発表者による講義、7月に診療報酬改定の影響について参加者全員でディスカッションをしました。

支部の特徴として、介護との連携に力を入れており、「介護福祉経営士」との合同勉強会を実施しています。今年度もすでに、「ミドルマネジャー養成ゼミ」を開催中で、多職種、異業種と一緒に情報共有できる全員参加型コミュニティを目指しています。

下半期に向けては、会員からも積極的な提案が多く、「適時調査」「マーケティング」「病診連携」などさまざまな企画案が事務局に寄せられています。今後は札幌だけでなく道内の各地域で研究会を開催したいと考えています。

### 東海支部

#### 医療経営士が研究会を自主的に運営 9月に「第1回岡村医療経営塾」を開講予定

コメント 田中賢司さん(岡村記念病院事務部次長、医療経営士2級)



沼津情報ビジネス専門学校で開催した第3回静岡県東部医療経営研究会

渋沢栄一の『論語と算盤』という本のとおり、医療経営は「医療哲学と病院収入」のバランスが大事だと思います。自院の理念と診療報酬に基づく収入とのどちらか一方が欠けても病院事業として、社会貢献にはつながらないのではないでしょうか。

福澤諭吉は『学問のすすめ』のなかで、「独立自尊の精神は学問をするか、しないかであり、実践に基づいた学問でなければならない」と言っています。3月に発足した「静岡県東部医療経営研究会」はそのような考えに面白そうだと賛同した医療経営士や医療経営を勉強したい人たちが集まり、自主的に運営しています。9月には、資格認定試験に向けた自主勉強会「第1回岡村医療経営塾」なども開講する予定です。医療経営に興味のある皆さんの参加をお待ちしています。

### 関東支部

#### 関東1都6県で精力的に開催! 顔の見える関係づくりを目指す

コメント 関東支部事務局



研究会後に行われた懇親会で親睦を深める

関東支部では、医療経営士に合格された皆様に関東支部の研究会を肌で感じていただくために、3級試験の合格発表後、定期的に「合格者のつどい」を開催しています。また、開催地域を東京だけでなく、関東各県に拡大しています。

研究会では「地域の課題を地域の医療経営士が解決していく」「業種業態の垣根を越えて医療経営士同士がつながり、いつでも相談ができる・顔の見える関係をつくる」を目的にしています。また、研究会後は懇親会を通して、仲間づくりにも力を入れています。

8月以降は、「病院経営に必要な財務・会計&税務・節税対策」や「BCPの実効性を高める実践講座」などをテーマに、より実務に役立つ研究会を目指します。まだ参加したことのない方、会員になるかどうか悩んでいる方など、ぜひ一度参加してみませんか?

九州支部

研究会での発表者募集  
実践活動をプレゼンしよう

コメント 九州支部事務局



南九州支局研究会で議論を交わす中村真之さん(写真中央)

九州支部は2016年度、医療経営士を講師に迎えた研究会を開催しています。5月には南九州支局で医療経営士1級の中村真之さん(医療法人玉昌会)、6月には西九州支局で医療経営士2級の河本卓也さん(国立病院機構長崎医療センター)にそれぞれ、「チーム医療を成功に導く秘訣」をテーマに実践活動の発表をしていただきました。会員同士が事例を持ち寄り、検討することにより「自院でも取り組んでみよう」という意識が高まったようです。

8月6日には、医療経営士3級の有田円香さん(製鉄記念八幡病院)に、「パブリックに伝わる病院広報戦略～地域に選ばれる病院をめざして～」をテーマに発表していただく予定です。会員の皆さんも研究会で、自院の取り組みを発表してみませんか。

中国支部

研究会企画運営委員募集  
企画立案、運営にチャレンジしよう

コメント 中国支部事務局



1月に開催した研究会で講演する中国支部の大田泰正理事

中国支部は、研究会企画運営委員を募集しています。これまで事務局がテーマや講師を決めてきましたが、これからは研究会の企画、運営にチャレンジしてみませんか。「医療経営士として、今、知っておくべきこと」「医療経営士として、学びたいあの病院の取り組み」など、研究会で取り上げたいテーマを、事務局にお知らせください。有志で会議を持ち、研究会活動を計画的に進めていきましょう。研究会の企画、講師との打ち合わせ、運営などの実践は、自院でさまざまな活動に取り組む際の基本や自信になると思います。

2017年の全国医療経営士実践研究大会は中国支部の主催です。来年に向け、支部活動を活性化していくためにも、新しく会員になられた方からの応募やご意見もお待ちしています。

関西支部

研究会は学ぶだけではなく  
知恵を結集できる場

コメント 田邊秀樹さん  
(社会医療法人三車会法人本部経営企画室室長、医療経営士2級)



4月16日に開催し、50人が参加した「石井ゼミ 第1回」の集合写真

このたび医療経営士資格認定試験に合格されました皆さまおめでとうございます。私は2011年6月に関西支部が設立して以来、研究会に参加しています。当初、関西支部は主として病院事務職で構成されていました。地域は違っていても抱えている問題や悩みなどは共通のものが多く、頼りがいのある仲間ができて心強かったです。現在は医療関連企業の方も増え、ますます多様な視点から学ぶことができます。

研究会は、グループワークなどのディスカッションを通して問題解決法を導くことにより、日々の業務の支えとなることも多く、資格取得に際して得た知識だけでなく、医療経営士の知恵を結集できる場として有意義です。ぜひ、関西支部研究会にご参加ください。私たちが優しくフォローさせていただきます。

今後の支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
7月30日(土)	関東	実務のレベルアップを図る石井ゼミ 「経営分析に必要なデータの収集から分析まで(Excel活用術)」	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
8月6日(土)	関東 (主催:日本医療企画)	わかりやすくすぐ使える! BCPの実効性を高める実践講座 第4期「経営人材育成 中村塾」(第4回)	浅野陸氏(株式会社フォーサイトコンサルティング代表) 中村彰吾氏(公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事/日本医療経営実践協会参与)
	東海	イノベーションを起こせる人材になるための石井ゼミ ～「保健医療2035」を読み解く～(第5回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
	九州	パブリックに伝わる病院広報戦略～地域に選ばれる病院をめざして～	有田円香氏(製鉄記念八幡病院経営企画課)
20日(土)	関東	『医療経営士1級』試験合格者中村祐介先生が教える! 病院経営に必要な財務・会計&税務・節税対策(2日目)	中村祐介氏(TOMA税理士法人ヘルスケア事業部チーフ・コンサルタント、医療経営士1級合格者)
27日(土)	関東	実務のレベルアップを図る石井ゼミ 「相手に伝わるプレゼンテーションの極意(PowerPointの使い方)」	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
9月10日(土)	関東 (主催:日本医療企画)	第4期「経営人材育成 中村塾」(第5回)	中村彰吾氏(公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事/日本医療経営実践協会参与)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページをご確認ください

本協会推薦図書

医療経営士にオススメの白書シリーズ 好評発売中!!

医療白書 2016-2017年版

新しい地域医療への挑戦

地域全体で治し、支える医療の実現に向けて

■監修: 西村周三  
(一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構所長)

■定価:4,860円(税込) ⇒ 会員価格:3,888円(税込)

【主な内容】

- 巻頭言 医療における予防の発想とその将来  
—— 専門職が隣接領域に一步進み出る時代へ  
西村周三  
(一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構所長)
- 第1部 総力特集 新しい地域医療への挑戦  
—— かかりつけ医と住民が創造するトータルヘルスケア
- 第2部 日本の医療の「現在」と「未来」がわかる  
—— 2016年度 医療制度・政策をめぐる10の論点
- 第3部 年表・資料編  
「介護保険制度」創設以降における保健・医療・福祉・介護の歩み  
2000(平成12)年～2016(平成28)年



介護経営白書 2016-2017年版

介護福祉  
新時代の“到来”

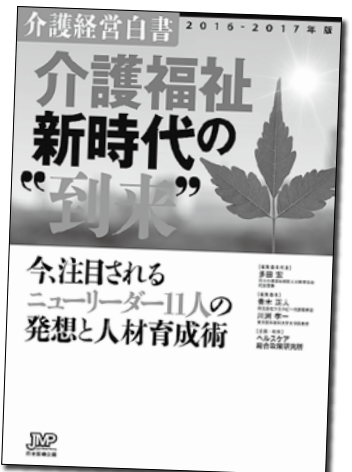
今、注目されるニューリーダー11人の  
発想と人材育成術

■編集委員代表: 多田宏  
(日本介護福祉経営人材教育協会代表理事)

■定価:4,320円(税込) ⇒ 会員価格:3,456円(税込)

【主な内容】

- ◆第1部◆ 介護の未来をつくる新リーダーの挑戦  
—— 新発想で高めるサービスと人材の価値  
第1章 新発想で介護経営イノベーションを実践する挑戦者たち  
第2章 新発想で高める人材の質  
—— 介護人材の新しい価値を検証する
- ◆第2部◆ 介護経営の傾向と対策  
—— 介護業界の新潮流を読む



第1回「全国介護福祉総合フェスティバル in 大阪」開催レポート

# 医療経営士、介護福祉経営士、地域住民、行政・教育関係者らが介護福祉の未来を真剣に考えた3日間

第1回「全国介護福祉総合フェスティバル in 大阪」(主催:日本介護福祉経営人材教育協会、後援:日本医療経営実践協会他)が、7月2日(土)、3日(日)、4日(月)、シティプラザ大阪(1日目)、大阪産業創造館(2、3日目)で開催された。3日間にわたって開かれた本フェスティバルには、延べ1,500人が来場。熱気にあふれた会場の様子を紹介する。



シンポジウム①では、医療職・介護職がどのように地域づくりに取り組むべきかが議論された

本フェスティバルは「みんなが考えよう」地域の介護福祉の現状と未来をテーマに掲げ、1日目は「介護と地域づくり」、2日目は「介護と子どもの教育」、3日目は「介護現場の課題と経営」についてのセミナーやシンポジウムが開催された。

初日に行われたシンポジウム①は「福祉と医療・看護がまちづくりに果たす役割」がテーマ。コーディネーターとして株式会社ウエルビー代表取締役の青木正人氏が登壇し、厚生労働省審議官の濱谷浩樹氏、大阪府・大阪市副都推進局長の谷田部部長の金森佳津氏、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェローの石井富美氏、社会福祉法人愛和

者本部・統括部長の坪茂典氏が発表を行った。濱谷氏は地域包括ケアシステムを「連携」の視点からとらえ、「病院/在宅/施設/在宅」の二元論から、「循環型システム」への意識改革の必要性を示した。また、地域包括ケアの縦軸には「医療と介護の連携」が、横軸には「生活支援とまちづくり」がくると指摘。地域包括ケアは、全国どこでも行えるシステムにしなければならないと示した。

前大阪府戦略事業室医療戦略担当副理事の金森氏は、森之宮地区で進められている在宅療養・介護・リハビリモデルルームを併設した住宅団地の例などを紹介。医療・介護関係者の参画を得ることで、スマートエイジング・シティ構想の実現につながることを示した。

石井氏は看護師が「まち」で活躍することをテーマに、自らが手がけるまちの保健室事業を

紹介。地域住民に対し、健康への意識を高めることが生活の質の向上につながることを伝える必要性を訴えた。「社会福祉法人が地域に對してできること」を常に探っていると述べた坪氏は、24時間LSA地域見守り事業を通じて、配食サービスを開始したケースを例示。その一方で、お金が動かないと永続的な活動ができない点が、地域活動における課題であると示した。

同日に行われたシンポジウム②では、「地域を耕すために必要なことは？」をテーマに、社会福祉法人の理事長や医師、ケアマネジャーなどが行っている地域づくりについて発表がなされた。

そのほか2日目、3日目には、映画『つむぐもの』の主演・石倉三郎氏と監督・犬童利氏によるトークショーや在宅医療カレッジなど、さまざまなイベントが開かれ、地域住民、行政・教育関係者、医療・介護関係者が共に、介護について真剣に考える場となった。

## ◆介護フェスに参加した医療経営士の声◆



医療法人社団甲友会  
西宮協立脳神経外科病院 安全管理室課長  
医療経営士2級  
**前田 哲氏**

1日目に参加しました。基調講演やシンポジウムがあり、著名な方々を含めた講演者の皆様それぞれの立場から、現在そしてこれからの介護福祉についての取り組みを話されていました。立場も状況も違う中、さまざまなやり方で積極的に地域へアプローチしていることがよくわかりました。それは、力づくで進められることではありません。坪氏は地域との関わりを、「アライアンスでもない、コラボレーションである」と言っていますが、地域の特性を踏まえながら、自然と地域になじんでいく感覚が大切なのだと思います。

私は今、急性期の病院に勤務しています。「地域包括ケア」が医療界でも頻りに語られていますが、私自身はまだ他人事だったように思います。フェスティバル参加を機に、地域が望む病院のあり方に向き合い、病気を治すだけの「待つ医療」からの脱却が必要だと考えるようになりました。少しでも実践できるよう取り組んでいきたいと思っています。



香川県  
政策部自治振興課副主幹  
医療経営士1級  
**川元 功氏**

1日目と2日目に参加しました。改めて医療と介護の連携の大切さを感じました。医療は治す、介護は生活を支援するサービスステージが変わっても、その中心にいるのは同一人の生活者。自立と尊厳を支え、一人ひとりの生活に寄り添うのが共通の役割であり、本当にこれからの地域づくりの中心だと感じました。

シンポジウムでは、たくさんの取り組みやアイデアを学び、初めて参加した「未来をつくるkaigoカフェ in OSAKA」では、子どもたちに介護の仕事の大切さや魅力をどう伝えるかを共に考えました。介護の現場で活躍している参加者の皆様の熱い思いにふれ、語り合い、そしてつながることができたのではないかと感じています。

シアタータイム&トークショーは、映画『つむぐもの』を通して人生や介護を考える貴重な時間となりました。このフェスティバルの魅力が、全国に広まっていくことを期待しています。



株式会社イーキ  
メディカル経営研究センター西日本担当  
医療経営士2級  
**道上 俊哉氏**

1日目、2日目に参加しました。医療機関が地域へアウトリーチする取り組みや、行政のユニークな街づくりなどの発表から、「気づいた人が責任者」という市民意識をいかに醸成するかを知り、医療・介護福祉・街づくりは、今後ますます切り離せないものになっていくと感じました。

2日目に、「未来をつくるkaigoカフェ in OSAKA」が関西で初めて開催されることも、大きな楽しみでした。昨年、東京出張の折に参加し、カフェを主宰する高瀬比左子さんのお話をうかがいましたが、30分ほどで帰らなければならず、残念な思いをしたのです。今回、カフェに参加し、介護福祉の現場の方と交流できたことで、非常に多くの視点を学びました。初日の交流会などで、熱い志を持った若き「かいごびと」たちに出会い、その大胆な行動力や豊かな感性にふれたことも大きな収穫でした。

医療・介護福祉の関係者が、より多くの交流を持つことが大切だと実感した2日間でした。

## 第5回 全国医療経営士実践研究大会 名古屋大会 参加エントリー、演題発表登録 受付中!!

プログラム  
決定!

# 医療経営士が生み出す地域イノベーション

## — 新たな医療経営が描く日本の未来像

2016年  
**10月29日(土)**  
**10月30日(日)**

**演題・論文発表者募集中!**  
医療経営士としての実践活動・研究成果をPRする場です。我こそはと思う医療経営士の挑戦をお待ちしております。

**事前参加登録受付中!**  
今なら事前参加登録料金です。(9月30日まで)  
会員および会員申請中15,000円(20,000円)  
※2日間参加の場合※( )は通常料金

●会場  
ウインクあいち  
(愛知県産業労働センター)  
名古屋市中村区名駅4丁目4-38  
※JR名古屋駅徒歩5分

●大会運営委員長  
**井手 宏**  
日本医療経営実践協会東海支部支部長  
一般社団法人愛知県医療法人協会会長  
医療法人財団愛泉会愛知国際病院理事長